

訪問看護について

訪問看護って何をしてくれるの？と聞かれることがあります。

今回は、訪問看護で行えることについて事例を元にお話しさせていただきます。

「ばあば、ただいまあ〜」田中家（仮名）に訪問中、孫娘で小学1年生の花ちゃん（仮名）が学校から帰ってきました。ばあばは病気のため寝たきりですが、田中家ではばあばのベッドを家族が集まる居間の真ん中に据えています。花ちゃんはばあばのそばに座り込み、学校での出来事を嬉しそうに報告します。その間、訪問看護師は血圧や体温を測ったり、皮膚の状態など健康状態を観察します。ベッドの足元にはかわいいワンちゃんがお昼寝中。寝たきりの場合、床ずれができたり関節が固くなってしまうことがあるので、注意深く観察します。必要に応じて、床ずれ予防マットの選択や関節の運動も行います。介護している娘さんに食事や排せつ、服薬の状況などを確認し、現状維持でよいかを判断します。病状に関わることであれば、医師に相談します。そして、一番大切な役割はご本人とご家族の想いを聴くことです。ご本人が辛いことはないか、ご家族が困っていることはないかを聴くことで、身体的なことだけでなく精神的な支えになりたいと思っています。花ちゃんはばあばの代わりにおやつを頬張っていました。



高齢化が進む桐生地域では、在宅医療の需要が高まっています。また、終末期や医療的ケア児等、在宅医療は多岐にわたります。在宅医療には訪問看護の力が必要不可欠です。

桐生厚生総合病院では、地域の在宅医療を支えるために、5月より「訪問看護ステーション桐の芽」を看護師5人体制で開設いたしました。看護師の増員に伴い、訪問看護車両の購入が必要となりました。そこで、訪問看護車両等を購入することを目的に、6月2日から8月29日までクラウドファンディングに挑戦しています。詳細につきましては、病院ホームページに掲載しております。病院内での現金寄付も可能です。

より多くの方への訪問看護を実現するために、皆様の温かいご支援を何卒よろしく
お願いいたします。

【訪問看護ステーション看護師長 村田 絹代】



【問い合わせ先】 訪問看護ステーション：0277-44-7730
クラウドファンディング：0277-44-7171